

ACCESS

宇野までの道のり



【新幹線、電車を使った目安時間】

東京駅 (新幹線約3時間) → 岡山駅 (電車約50分) → JR宇野駅

新大阪駅 (新幹線約55分) → 岡山駅 (電車約50分) → JR宇野駅

京都駅 (新幹線約60分) → 岡山駅 (電車約50分) → JR宇野駅

高松駅 (快速列車約40分) → 茶屋町駅 (電車約25分) → JR宇野駅

博多駅 (新幹線約1.5時間) → 岡山駅 (電車約50分) → JR宇野駅

広島駅 (新幹線約40分) → 岡山駅 (電車約50分) → JR宇野駅



【飛行機、バス、電車を使った目安時間】

羽田空港 (飛行機約1.5時間) → 岡山空港 (バス約50分) → 岡山駅 (バス約50分) → JR宇野駅

宇野からの道のり



【ヨットチャーター】

瀬戸内海の優美な景色に似合う、ホワイトを基調とするヨットは、まるで瀬戸内海を貸切ったような気分を味わえ、通り抜ける海風と共にゆったりとしたひと時を満喫していただけます。落ち着きのある空間と開放感を兼ね備え、広々とした船外デッキで太陽の光と潮風を感じながら、セーリングを味わうのも楽しみ方のひとつです。



【クルーザー】

VILLA STELLAから豪快な瀬戸内のクルーズを味わう旅をお楽しみいただけます。潮風を浴びながら、忘れられない思い出を作りませんか。



【ボート】

小回りの効くボートでは、より手軽に島の周辺や、人気のスポットにスピーディーに移動します。数多くの感動に出会う特別な体験はいかがですか。



【お問い合わせ】

一般社団法人玉野コミュニティ・デザイン

HP : <https://www.setouchi-tcd.com/>

TEL: 0863-32-1222 MAIL: info@tcd-u.jp



「瀬戸内 ISLAND HOPPING」世界に一つだけの旅と一緒に創ります

NEW STYLE SETOUCHI ISLAND HOPPING

Seto Inland Sea 瀬戸内海

やわらかな島の光と吹き抜ける潮風に誘われて、「まだ見ぬ景色」に会いに瀬戸内へ。

自然が織りなす癒しの情景や心が揺さぶられる島特有の文化、穏やかな瀬戸内海ならではのアクティビティ。

直島の「アート」、犬島の「再生の歴史」、小豆島の「文化と食」、貸切無人島での「グランピング体験」、地産地消の「島食」など、さまざまなストーリーやコンテンツにあふれた、心に刻まれる一期一会の島旅へご招待します。

旅の起点は岡山県の南に位置する宇野港。それぞれの島への移動は、貸切のカタマランヨットやクルーザーという、ラグジュアリーかつ安心な空間です。皆さまだけのプライベートな時間を心ゆくまでご堪能ください。

穏やかな水面が魅せる多島美、時を忘れるほど美しい夕陽。

まだ知られていない新しい瀬戸内の魅力に出会い、触れることのできる「自分だけの島旅」。

次の休日は「瀬戸内ゲートウェイ宇野港発・新スタイルSetouchi Island Hopping」で旅をしませんか？

Kasaoka Islands 笠岡諸島

笠岡諸島は、笠岡市から南方に連なり、大小30あまりの島々からなります。そのいくつかは既に干拓によって本土と陸繋りになっています。7つの有人島が存在し、本土に近い側から高島、白石島、北木島、大飛島、小飛島、真鍋島、六島。瀬戸内海国立公園に指定されています。

Kojima・Shimotsui 児島・下津井

本州と四国を結ぶ瀬戸大橋のふもとの小さな港町「下津井」は、北前船の寄港地として栄え、古い町並みから往時の繁栄が窺えます。また、織物のまちとして名を知られる「児島」は、ジーンズを核としたショップが展開する「ジーンズストリート」や、「高田織物」、「真田紐」などがあり、ファッション好きや手芸好きにはたまりません。



Shiwaku Islands 塩飽諸島

香川、岡山両県にまたがる備讃諸島の西半部で、約30の島の総称。昔から海上交通の要所として栄え、現在大部分は香川県に属しています。戦国時代は塩飽水軍が活躍し、江戸時代は天領で人名(にんみょう、大名にあたる)による自治が許され、独自の文化が有しているエリアです。

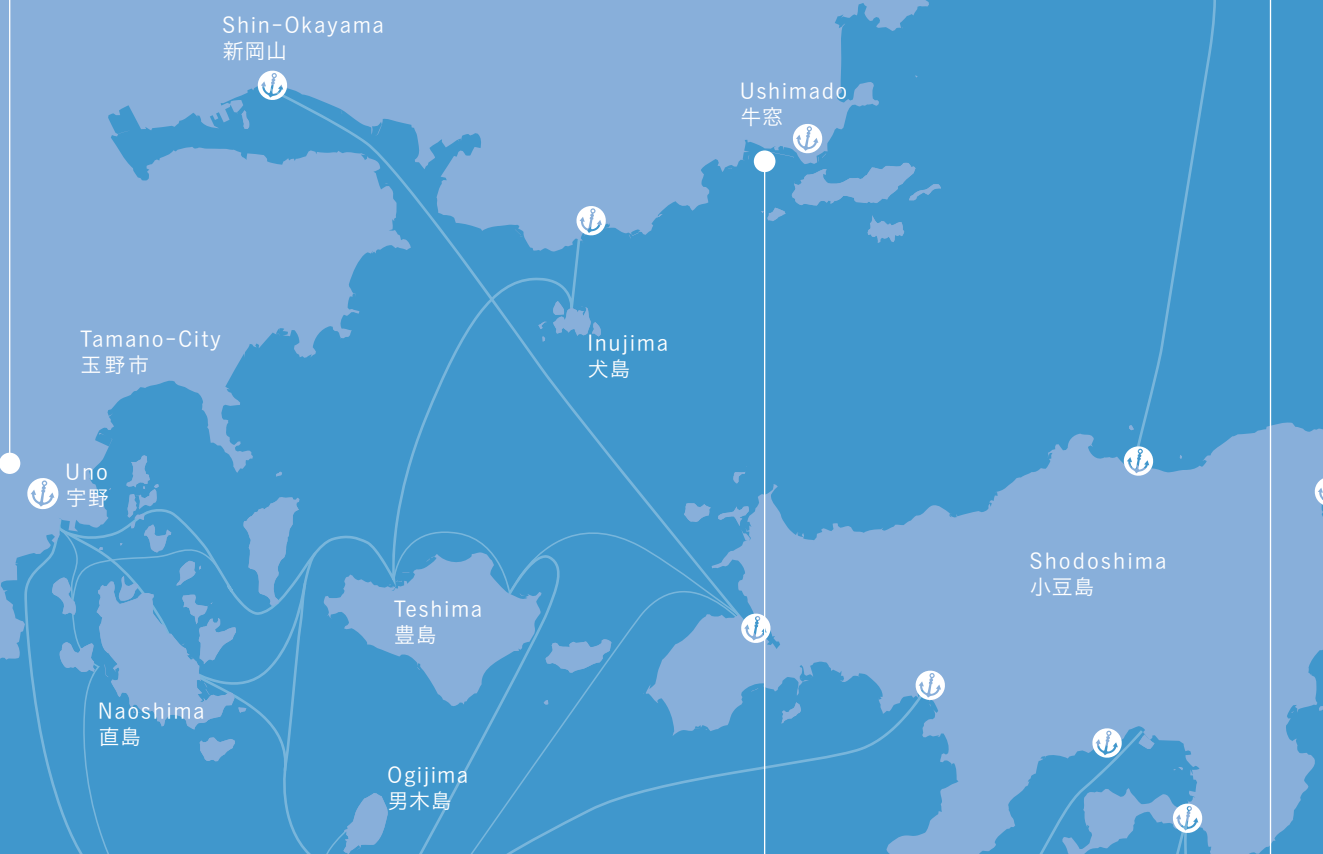
Uno 宇野

瀬戸内のゲートウェイ 宇野港

瀬戸内海の島々への定期航路やクルーズ客船の寄港地でもあり、瀬戸内国際芸術祭アート作品「宇野のチヌ」(淀川テクニク)をはじめとした、様々なパブリックアートがちりばめられた宇野港は、瀬戸内の魅力を堪能するための玄関であり、旅の起点でもあります。ここから始まる旅の一步はきっと忘れられない特別な時間に誘ってくれることでしょう。レンタサイクルで周辺を散策したり、海沿いのサイクリングを楽しんだりすることもできます。



宇野のチヌ / 淀川テクニク



Ushimado 牛窓

オリーブ実る瀬戸内の町、牛窓。海と緑に囲まれた自然環境の良さが際立ちます。日本の夕陽百選に選ばれた「牛窓の夕陽」、港町の風情が残るしまち唐琴通り、干潮時に島と島とが砂洲でつながる黒島ヴィーナスロードは必見です。



Hinase 日生

山林に隣接した漁港では、魚介類を中心とした「五味の市」が開かれています。この地域はカキの養殖が盛んであり、町にはカキオコと呼ばれる牡蠣が入ったお好み焼きの郷土料理が町の名物になっています。





Mushima 六島

岡山県の最南端であり、シンボルの灯台が島を見守っています。平成5年に六島小学校の児童の手によって登山道に植えられた水仙が美しい「水仙の小道」があります。



Takashima 高島

子はらみ石・高島行宮遺跡など高島の歴史探訪ができ、2kmの遊歩道は島をぐるりと一周できます。4月にはお祭りで華やかこの時期だけの情景も堪能できます。



Manabejima 真鍋島

風情のある本浦の町並みと、豪快な漁師料理がお腹いっぱい味わえる「漁火」、ゆったりとした瀬戸内時間を過ごすことができる宿「三虎」があります。



Honjima 本島

本島は、昔この海域を治めていた塩飽水軍の本拠地で、塩飽諸島の中心的な島でした。この「塩飽動番所」は、幕府から特別に自治を認められた塩飽水軍が活動する拠点でした。



Shishijima 志々島

江戸時代後期から漁業の島として栄えた志々島は、樹齢1200年の雄大な大楠(おおくす)を目の当たりにすることができます。今日も静かに島を見守っています。



本島 笠島重要伝統的建造物群保存地区

国の伝統的建造物群保存地区に選定された集落で、江戸時代から戦前にかけて建てられた風情ある建物が並びます。「塩飽大工」と呼ばれる名工たちによって手がけられたものです。



志々島 茶粥

この小さな島に伝わる食文化として「茶粥」があります。発酵させた茶を煮出して作ります。あっさりとしたヘルシーな食文化は、古くから続く漁村の暮らしの知恵の結晶です。

PICK UP

Naoshima 直島



PICK UP

ベネッセハウス

「自然・建築・アートの共生」をコンセプトに、美術館とホテルが一体となった施設です。建築は安藤忠雄による設計で、館内外のいたるところにアートが点在しています。



ベネッセハウス 写真：山本朝

地中美術館

「自然と人間を考える場所」として建設された館内では、クロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デ・マリアの作品が鑑賞できます。



地中美術館 写真：藤塚光政

ANDO MUSEUM

過去と現在、木とコンクリート、光と闇。対立した要素が重なり合う安藤忠雄の建築要素が凝縮された空間を鑑賞することができます。



ANDO MUSEUM 写真：山本朝

家プロジェクト

直島の本村地区において現在7軒公開されているアートプロジェクトで、点在していた空き家などを改修し、空間そのものを作品化しています。



家プロジェクト「角屋」 写真：上野利宏

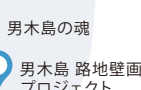
李禹煥美術館

ヨーロッパに活動の拠点を置くアーティスト、李禹煥の絵画と彫刻作品を安藤忠雄の手掛けた建築の中で鑑賞することができます。



李禹煥美術館 写真：山本朝

Ogijima 男木島



壁画

壁と路地と集落が織りなす壁画。この島で集めた廃材や廃船などに風景のシルエットをカラフルに描き、民家の外壁に設置した作品たちが、風景に溶け込んでいます。



男木島の魂

男木島の魂と題されたジャウメ・プレンサの作品です。屋根に多様な文字が配され、日中はその影が地面に映る島を訪れた人を迎え入れる象徴的な空間です。



Megijima 女木島



桜の名所

島内に植えられた約3,000本の桜が花を咲かせ、島全体が桜の花弁のうすピンク色に染まり、春の訪れを感じさせてくれます。



鬼ヶ島大洞窟

島の中央部にある鷲ヶ峰山頂には、その昔、鬼が住んでいたとされる巨大な洞窟「鬼ヶ島大洞窟」を散策できます。



アートで再生

ここにはかつて、1909年に建設され、わずか10年で操業を終えた銅の製錬所跡がありました。その遺構を保存・再生し「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトのもと、2008年に犬島精錬所美術館が開館しました。2010年には集落の中に犬島「家プロジェクト」が、2016年からは長く使われていなかった、ガラスハウスを中心とした、約4500m²の土地を再生した犬島 ぐらしの植物園を公開しています。



犬島精錬所美術館

環境に負荷を与えない三分一博志の建築に、日本の近代化に警鐘をならした三島由紀夫をモチーフにした柳幸典の作品を展示しています。

犬島精錬所美術館 写真：河野太一



犬島「家プロジェクト」

犬島「家プロジェクト」は、築100年以上の家が点在する集落の中の5つのパビリオンで、さまざまなアーティストの作品を公開しています。

犬島「家プロジェクト」A部 ペブルス・タレル「夢」Yellow Flower Dream, 2018 写真：井上真由

Inujima 犬島



棚田プロジェクト

瀬戸内国際芸術祭の開催を契機に、豊島「食プロジェクト」が立ち上がり、かつての島の食の豊かさを取り戻すため、「棚田プロジェクト」がスタートしました。四季折々の農作風景はまさに日本の原風景です。



豊島美術館

棚田プロジェクト敷地の一角にある、水滴のような形をした美術館。自然と建物が呼応する有機的な空間は、ここに訪れる人の心を魅了し続けています。



豊島美術館 写真：鈴木研一

豊島横尾館

アーティスト・横尾忠則の作品を古い民家を改修した展示空間で鑑賞できます。豊島の玄関口で出迎えてくれる作品は圧巻です。



豊島横尾館 写真：山本朝

島キッチン

「食とアート」で人々をつなぐ出会いの場として、建築家安部良さんによって設計、再生を果たした場所です。現在、瀬戸内国際芸術祭を支えるボランティアアサポーターが運営しています。



© 宮脇慎太郎

Teshima 豊島

Shodoshima 小豆島

小豆島の豊かな特産品

瀬戸内海で淡路島について大きな面積の島で、温暖な瀬戸内海式気候を活かし、オリーブ、ミカン、スモモなどの栽培が行われており、醤油、素麺、佃煮、ごま油などの生産物も特徴的です。



醤油



素麺



オリーブ



オリーブ牛



PICK UP

寒霞渓

日本三大渓谷美のひとつとして賞される寒霞渓は小豆島が世界に誇る景勝地となっています。ロープウェイは日本で唯一空・海・渓谷を同時に眺望できる場所です。



中山地区

海の景色から離れた鏡子溪の麓の山間集落には、「日本の棚田百選」にも選ばれている「中山千枚田」があります。約800枚もの田んぼを展開する景色は圧巻です。



二十四の瞳映画村

瀬戸内海を見渡す海岸沿い約10,000m²の敷地には、不朽の名作「二十四の瞳映画村」のロケ用オープンセットを改装した映画の世界が広がっています。



小豆島オリーブ公園

約2,000本のオリーブ畑に囲まれた道の駅公園は、小高い丘にある白いギリシャ風車や、「魔女の宅急便」のロケセットがあるフォトジェニックな空間です。



醬の郷

「醬(ひしお)」とは、近代化産業遺産にも認定された伝統産業で、塩を加えて発酵させた塩蔵品です。醬の代表格である醤油や佃煮を作る工場が軒を連ねるエリアです。



エンジェルロード

エンジェルロードは1日2回、干潮時に海の中から現れる砂の道。大切な人と手をつないで渡ると、砂州の真ん中で天使が降りてきて、願いを叶えてくれると言われています。

